



都筑区民文化センター(仮称)およびボッシュ・グループ研究開発拠点の新設事業

横浜市都筑区中川中央一丁目9番における「横浜市都筑区における区民文化センター等整備予定地活用事業者選定委員会」において、弊社が代表するグループ企業が事業予定者となりました。
(平成30年11月26日)

■事業コンセプト:

「～歴史ある都筑の文化とグローバルテクノロジー企業の Fusion(融合)による、新しい未来型文化拠点づくり～」

通り抜け通路に面して広場を設け、広場の活用などを介して民間施設と区民文化センターの相乗的なにぎわいを創出し、地域活性化につなげます。

■施設概要

- ・民間施設(オフィス、研究施設)+区民文化センター
 - ・民間施設部分▶地上7階地下2階
 - ・区民文化センター部分▶地上4階地下1階
 - ・延床面積約5万5000㎡、地下鉄骨造地下一部鉄筋コンクリート造、免震構造採用
- ※上記は提案内容の抜粋であり、今後の設計などで実際の建物と異なる場合があります。
- ※区民文化センターについての詳細は、横浜市都筑区のHP「[都筑区における区民文化センターの整備について](#)」をご覧ください。

■スケジュール(予定)

2019年	土地売却契約、土地引き渡し
2024年度	竣工、開館

イメージ図



事業コンセプト

歴史ある都筑の文化とグローバルテクノロジー企業の

Fusion Fusion(融合)による、新しい未来型文化拠点づくり

本事業の特性、本事業に関する課題認識

区民の期待に応える区民文化センターを整備し、それを軸に未来に続く「都筑」の文化を育む街をつくる

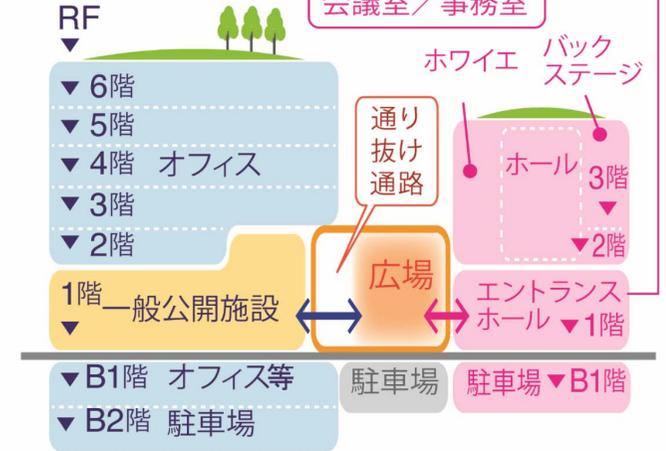


施設のコンセプト

Fusionというコンセプトのもと、区民文化センターとの相乗効果を発揮する場を構築し、新しい文化発信拠点とする

- ▶ 都筑の歴史的な文脈と現代の都筑の文化を大切にし、未来に向かう新しい文化の萌芽を吹き込む
- ▶ 歴史と未来、芸術文化事業と先進技術の民間事業、地元の生活者と就業者など、多様な人と価値が交錯し相互作用を生み出す賑わいの場を作る
- ▶ この地ならではの地域文化創出の拠点となる
- ▶ 人と街の成長を長期的に捉え、多様な価値が永続的、恒常的に生まれ続ける環境および設備を用意し、その運営体制を維持する

施設の構成



- ▶ ポッシュ棟の主要機能はオフィスと研究施設(ラボ)
- ▶ 区民文化センターの補完機能として民間施設の一部を一般開放
- ▶ 通り抜け通路、広場、区民文化センターとの相乗効果にて地域文化活動の拠点となる



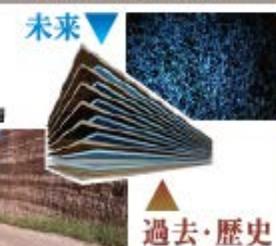
施設全体

施設全体の概要

都筑の歴史文化とテクノロジー企業のイメージをFusionさせた新しいランドマークとなるデザインを施す

- ▶ 区民文化センター：歴史を象徴する自然素材と未来を象徴する無機質素材を積層させ、年輪のように時間の積み重ねを想起させるデザイン
- ▶ ポッシュ棟：横浜を象徴する白をベースに、未来を象徴する無機質素材を積層させ区民文化センターとFusionするデザイン
- ▶ 地域の方々のご意見を取り入れたり、施設づくりに参加できる仕組みの構築

区民文化センターの外装イメージ



ポッシュ棟の外装イメージ

